

# 美しく生きる

上伊那賛助会報  
第134号 2019年1月21日発行  
長野県長寿社会開発センター  
伊那支部上伊那賛助会  
TEL 0265(76)6863

## 2019年の新年を迎えて



新たな時代へ向けて

上伊那賛助会 会長 北原 正之

年頭に当たり御挨拶申し上げます。明けましておめでとうございます。昨年は賛助会運営に關し、皆様には一方ならぬご協力を頂き、有難うございました。本年も引き続きご協力を宜しくお願い致します。賛助会の運営をお引き受けいたしましたが、会員数も激減し全盛期の三分の一となり、クラブ数もハ団体となつて活動にも影響が見られる状況であります。平成の時代も後数ヶ月で終わりを告げ、新たな時代に我々にどんな夢と希望をもたらすか楽しみであると共に、反対に大変な時代になるかもしれません。時代の大きな変わり目と共に我々賛助会も変革しなければ賛助会は変わらない。井の中の蛙が外に飛び出す機会でもあります。本年度は現賛助会会員が人生百年時代を迎えるとする中、人生二毛作時代でもあり、人生にゆとりと遊びの心を反と作り、敢えて絆を深くしてゆくことが賛助会の使命だと思いつ、新年のご挨拶といたします。



長野県長寿社会開発センター 伊那支部  
社会活動推進員 浦野 俊男

### 賛助会の存在を高めよう

新年明けましておめでとうございます。賛助会員の皆様におかれましては、輝かしい新年をお迎えのこととお喜び申し上げます。早いもので、私が事務局を担当して1年2カ月が過ぎました。その間、皆様には多大なるご支援を賜り、心より感謝申し上げます。昨年は賛助会とシニア大学の交流を深めるために『お試し企画』を積極的に進めてまいりました。お蔭様で、延べ86名のシニア大生が企画に参加して下さり、11月に開催された『賛助会の集い』では、その感想を発表してもらうという新たな出会いの場を提供することができました。上伊那賛助会は世代交代の過渡期に差し掛かってはおりますが、このような活動を通じて賛助会の活性化とシニア大生の卒業後の受け皿としての賛助会の存在意義を確固たるものにして行けたらと思う所存です。本年も宜しくお願ひ申し上げます。

信州ねんりんピック「高齢者作品展」の伊那CT放送エリア内入賞者表彰会

昨年9月に佐久市でおこなわれた信州ねんりんピックの「高齢者作品展」において、伊那ケーブルテレビ放送エリア内から入賞された5人の方に、昨年11月14日に、伊那市合同庁舎において表彰式が行われた。

伊那市の高林千尋さんは日本画の作品で、タイトルは「釣する親子」で奨励賞を受賞された。そして同じく伊那市の宮脇智明さんは、彫刻の部のタイトル「もう、チヨツトで、とどくかな」で佐久市長賞を受賞された。

南箕輪村の高橋修司さんは、手芸の部の切り絵でタイトルは、「夏祭り」である。表彰名は、長野県老人クラブ連合会会長賞であった。同じく手工芸の部で、切り絵を作った福澤久子さんの衝立は「梅花繚乱」の奨励賞を、写真の部では中山清子さんの作品でタイトル「はい、どーじょ！」が佐久市長賞を受賞されたので、これら5名の方について改めて伊那市においても表彰会が行われた、

特に中山清子さんは、上伊那賛助会の会員の方であるので、本紙においても掲載いたしました。  
(伊那谷ねつとニュースより)

## 2018年上伊那賛助会の集い

### 式典、記念講演、グループ活動発表会を実施

上伊那賛助会は、2018年度の「上伊那賛助会の集い」を、昨年10月30日に「いなっせ」6階の大ホールにおいて開催した。これまで6階のホワイエに展示場所を設けて、所属するグループの作品展示を行っていたが、最近は会員の減少等もあり、今回は展示の実施は中止となった。

大ホールでは、最初にいつもの通り会長挨拶に続き、来賓としてご来席頂いた長寿社会開発センター伊那支部長、事務局次長、伊那市社会福祉協議会会长、シニアコーディネータ（以上お名前は省略）の方々の紹介があり、伊那支部長丸山氏のご挨拶の後、本題に入った。

開会に先立ち、9月23日に行なわれた「伊那市ふれあい広場」において、上伊那賛助会から協賛出店したお菓子の売上金を、会長から伊那市社会福祉協議会会长に寄贈された。

（写真右上）

そして、今回の記念講演会は、講師のご都合もあって本会の最初に行われ、午後の部において所属グループの活動発表となつた。これらの概要を以下に示す。

#### 記念講演

伊那食品工業（株）取締役会長 塚越 寛氏

今回は上に記した通り、現在全国的にも広く知られている伊那食品工業（株）の会長をお迎えしてのお話である。先ず、お話を先立ってビデオによる映像が流された。

このビデオの動画は、伊那食品工業（株）の社員の皆さんがあなが日ごろ行っている活動について、次のような映像が放映された。

- ・伊那食品工業の本社は道路沿いにあるので、出勤時は車が右折すると対向車両が多いので渋滞してしまう。  
このため社員の「右折」を禁止している。（写真右）
- ・一年を通して社員が社内だけでなく、周辺の清掃を行い、地域の環境美化に努めている。
- ・地域の皆様に感謝の意味で、「かんてんぱぱ祭り」を開催している。
- ・社内の高い木の枝落としは、社員が資格を取って機械を使い行っている。
- ・トイレの清掃は、社員が自らが行い丁寧に綺麗にしている。

・社員は企業だけではなく社会に対しても責任を果たすべく、「迷惑をかけないよう人の役に立つ」、この当たり前のことを大切にしている。

などについて社員の皆さんのが実行している様子を映像と音声によって紹介された。

ビデオ終了後は、塚越会長さんがステージに上がられて、直接お話をあった。



## &lt;「塚越会長のお話」&gt;



伊那食品工業（株）塚越会長

紙面の都合もあるので、当日の塚越会長のお話を要約して以下に記述する。

「説明の中で、自慢話のような所があるかも知れないが、参考になればと思いお話しする。」

私は17歳の頃肺結核にかかり、約3年間入院生活を余儀なくされた。当時は焦りを感じて悩み、健康が全てであると思った。そして完治してしてからは拾ってくれる所があれば何處でもよいから働きたいと思っていた。

幸運にもある日、赤穂工業の専務さんが、伊那食品工業の前身の会社を紹介して下さり、そこで働きによりその会社の経営に携わるようになった。その会社では、社員各人のやる気を起こさせる為に一生懸命に働いて海外へ行こうという案を考えた。これが好評で現在も1年おきに継続実行している。

家庭も人生、会社も人生、『人生を良くするために働いてお金を稼ごう』という社員のモチベーション（熱意）を上げることに成功し、これまで50年間会社の赤字は一度もない。

会社経営はテクニックではない。信者と書いて、儲けるという字のごとく、ファンを作れば会社は儲かる。物を安売りすることは良いこととは思わない。かかった費用を含む適正な価格で売ることは働いて生じた価格であり、それだけの費用を貰う権利がある。

当社の建物は、全てヤマウラ（株）に発注している。信頼関係があるから決して値切らない。私は『年輪経営』という本を書いたら、意外に売れた。その結果、トヨタ自動車、パナソニック等の大企業からも講演の依頼があり、トヨタでは3500人の前で講演を行った、

経営は、真剣に社員の幸せを考えることが大切、得られた利益は貯めるのではなく、使うことである。うまく使えば経営はアップする。そして社員の幸せを考えることが大切。ケチると会社は変な方へ向いてしまう。

弊社は寒天を扱うので水仕事が多い。このため以前は長靴を履いて仕事をしていたが、長靴の要らない仕事場に変えた。また寒天作りは粉が舞う。作業環境を良くするため粉の影響のない作業場に変えた。そのお蔭で、経営が向上した。

当社は原料が得られないときのために、海外にも4つの工場を持っている。この調整のためにスウェーデンのストックホルムへ行ったとき、仕事が延びて相手会社のゲストハウスに泊めさせてもらった。その景観、環境、食事が素晴らしかった。東京に建物を建てることが豊かさではないと思った。当社はそれ以来、その考えを取り入れている。

東京は歩道には雑草が生えている所が多い。自分の土地は綺麗にするが、公の場所はあまり行われていない。豊かさがあれば顧客は来てくれる。車で来るには駐車場が必要になる。

これからは車も自動運転の時代が始まる。それにより人の職業、環境、価値観が変わって来る。経営者は将来の価値観を考え、準備する必要がある。

「我利我欲」は誰でもできる。他人の幸せを考えること「他利」の精神があれば、貴方も幸せになる。これは宗教の原理である。他人には迷惑をかけない。こうすれば満ち足りた人生を送ることができるでしょう。」

（スペースの関係から一部割愛した箇所もあります。）

## <『グループ活動発表』>

今年の活動発表は、「ふるさとを学ぶ会」「ふれあいマレット」「夢クラブ」「里山散策の会」の4グループが、近況について発表が行われた。以下にその発表概要を要約して示す。

### ふるさとを学ぶ会

説明者 片桐 謙治氏

- 目的：私達のふるさとの地域と文化を聞き、それを見て知る。
- キャッチフレーズ：「明日を楽しく元気よく交流活動を続けよう」である。
- 現状：平成24年設立、会員7名プラス一般会員2名 計9名と少ない会員であるが、若い人も多く集まり、楽しく過ごしている。
- 内容：見て聞いて学び、楽しく活動している。見学範囲は上田、松代、戸隠などを広範囲に見学し、最近は一泊旅行も楽しみにしている。



平成27年には「真田丸」の上田城、長谷寺を見学し、同年12月には伊那部宿にて東西の基点となる当宿について森先生のお話を聞いた。そして来年の雛祭りには、雅楽と踊りによる見学会を計画しており、皆さんにもぜひ見学して頂きたい。詳しい時期と場所はご日、お知らせする。以上が「ふるさとを学ぶ会」の説明の概要であった。

### ふれあいマレット

説明者 宇治 重人氏

近年は、人生百歳であり、65歳で退職してもその後35年を生きてゆかなくてはならない。それまでは、健康で抜けないようにしなくてはならないのである。

また働くことも必要である。それまで体力を付け、健康を維持してゆくためには、マレットゴルフが最適と思われる。

現在当会には男性14名、女性3名の会員が居り、合計17名が所属している。そして毎月第1木曜日の朝9時から大芝高原マレットコースで例会を行っている。

毎回全員が集まる事は少ないが、大抵5~10名が参加してくれている。中には今年90歳になる方も居られ、その方は週3回プレーされているようである。ということは、マレットが長寿維持に良いということを示している。

プレーは初めての方には難しくても、慣れれば木々の間をボールが抜けて行く醍醐味はとても楽しい。ぜひ当会に皆様のご入会をお待ちしております。



月例会でのひとコマ



## ゆめクラブ

説明者 野澤伊代子氏

当会は、今年の3月に「いきいき31」グループを解散し、再編成して作ったグループで「ゆめクラブ」と命名して賛助会に参加した。

会員の年齢は高いかも知れないが、皆さん元気な人達ばかりである。

活動目的は、地域社会への恩返し、仲間づくりをしながら、アートづくり等をおこなっている。その中で押花や、高齢者施設訪問、子供達や、身障者達の人達と交流を図り、その絆を大切にしてゆきたいと思っている。

伊那公民館の塾において押花作りを教えてあげたりすると、子供達はとてもイキイキとしてくる。また施設のデイサービスに来ている方などはお話を聴いてあげればとても喜ばれる。そして、信州大学農学部には外国からの留学生など大勢来ているが、その人達やその他の方への食事づくりを行ったり、そば打ちの指導を行うなどいろいろな分野で活動を行っている。特に留学生などは自宅に来てくれたりして、交流を深めている。

このようにして、これまでの経験を基にして、更なる福祉活動に参加してゆきたい。

## 里山散策の会

説明者 奥村 伸枝氏

この会は、シニア大37期の卒業式後の祝賀会において、友達の輪を続けてゆきたいという要望から、「里山散策の会」を作った。里山という言葉は、「人と自然が生きているところ」という意味に惹かれて名付けた。そして活動テーマは、④運動、⑤栄養 ⑥教養を基本として、「趣味を持ち豊かな生活を行う」をモットーにスタートした。

これまでの主な活動を振り返ってみると、下記のような活動をおこなってきた。

- ① 中川村の「望岳荘」から美術館への山道の草花の見学や散策
- ② 箕輪村の運動公園付近の散策
- ③ JR主催の辰野町から「福寿荘の郷」散策コースの見学
- ④ JR東海主催の2つのアルプスを歩き山や風景を見ながらの散策
- ⑤ 宮田村の宮田宿の写真見学と散策
- ⑥ 東伊那の「まつたけ祭り」に参加し、地域の木彫り遺産の見学と散策
- ⑦ 辰野町のほたる見学と食事会
- ⑧ 高遠地域と高遠ホテル写真展

等である。そして来年も引き続き、シニア大生も多数参加してもらえるような活動を検討中である。



## 2018年 信州ねんりんピック スポーツ交流大会結果報告

「信州ねんりんピックスポーツ交流大会」の結果は、上伊那贊助会に関連があると思われるものだけを選んで、下にその結果を記載した。

ソフトテニス(東御市中央公園)

順位	60歳以上 男女混合ダブルス		70歳以上 男女混合ダブルス	
優勝	登内 英喜	伊那市	吉池 英勝	上田市
	滝澤 薫	伊那市	荒木 純子	上田市
準優勝	久保 誠六	長野市	高木 松男	小諸市
	春日久美子	伊那市	甘利ゑみ子	小諸市
第3位	藤本 雅弘	長野市	近藤 信夫	長野市
	藤本 康子	長野市	青柳 久子	長野市
第3位	田口 和博	東御市	松下 福義	松川村
	小林 洋子	上田市	川村 弘江	松本市

※ソフトテニスは第3位が2組となります。

ソフトバレーボール(東御中央公園 第1体育館)

順位	チーム名	市町村名
優勝(Aブロック)	太陽と月	中野市
優勝(Bブロック)	アップル	飯綱町
優勝(Cブロック)	パートナー60	茅野市
優勝(Dブロック)	ふれんどC	宮田村
優勝(Eブロック)	たんぽぽ7	安曇野市

※ソフトバレーボールは、各ブロックの1位チームをそれぞれ優勝としています。

ペタンク(東御中央公園 グラウンド)

順位	チーム名	市町村名
優勝	佐久コスモス	佐久市
準優勝	ビュット	飯田市
第3位	あさま	佐久市
第3位	松本A	松本市

※ペタンクは、第3位が2チームとなります。

マレットゴルフ(海野マレットゴルフ場)

順位	男性	女性
優勝	藤沢 弘明	戸倉 犬飼いつみ
準優勝	柳沢登美夫	長和 北村 文子
第3位	北澤 義春	上田 小出 安子

※支部名のため、市・町・村はつきません。

テニス(東御中央公園 テニスコート)

順位	男子ダブルス60歳以上		男子ダブルス70歳以上	
優勝	浅川 富永	松本市	斎藤 勝利	松本市
	百瀬 廣	塩尻市	杉下 勝彦	安曇野市

順位	女子ダブルス60歳以上		女子ダブルス70歳以上	
優勝	下田ゆかり	朝日村	西澤美恵子	御代田町
	林 文子	小諸市	吉田さよみ	岡谷市

順位	女子ダブルス60歳以上		女子ダブルス70歳以上	
優勝	伊藤三枝子	東御市	石田 和子	松本市
	三石美智子	佐久市	西澤 朋子	須坂市



東御中央公園第1体育館

## 伊那での自動運転バス 2回目実証実験終了

国土交通省は、平成30年2月に中山間地域における人や物流の確保のため自動運転サービスの導入を目指し、長野県伊那市の道の駅「南アルプスむら長谷」にて第1回目の自動運転に関する実証実験を実施したが、今後の実用化へ向けての資料とするために、運用化に要する第2回目の実証実験が昨年11月に行われた。

この回の実験に使用されたコースは右の図の通りであり、「上伊那農協東部支所」から「長谷総合支所」までの片道約6キロメートルである。

実験の期間は11月5日から29日までの火曜日を除き1日3便で計63便が運行され、期間、走行距離とも大幅に延長して実施された。乗車された方は予め予約された方に限られ、ICカードを発行し、それを所持された方だけであったが、1便当たり平均して5.5人であった。そしてその期間、重大な事故やトラブルもなく成功裡に実験は終了となった。

今回の実証実験には、これまでに無かった600mのトンネル内走行もあり、トンネル内は地中に磁気マーカーを設置して衛星測位システム(GPS)の電波の届かない箇所もクリヤーして運行できたとのことである。

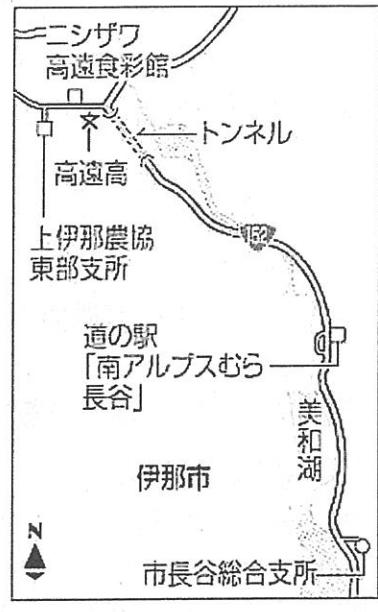
### < 将来に向けての公共交通の在り方 >

伊那市では、早い実用化を目指しているが、まだ法律やコストの問題もあり、実現にはまだ困難なことが多い。

市の新産業技術推進協議会インテリジェント交通部会は今回の実験を通して自動運転の実用化や、公道でない場所、観光地の実施を目標にしているようである。

しかし市内の実験は2回とも国土交通省が行ったものであり、市がこれだけの結果を基に実施に至ることはできない。

國の方針は2020年までには実用化へ移行したい意向であるが、まだ詳細は明らかになっていない。従って市としては、自動運転は完全な実用化にはまだ時間がかかることや、そのための費用もどうするかという問題もあり、それに先駆けてAI配車システム(顧客の配車要求を基に、人工知能から得られた情報から効率的に配車を行う方式)を用いて運転手不足や事業費抑制につなげるという策にも期待しているようである。



実験走行コース



走行中の自動運転バス

生活  
講座

## 健康コラム

## 睡眠が健康に与える影響



## 睡眠は「時間」も大事だが、「質の良さ」がもっと重要

日本人の睡眠時間は欧米諸国と比べると短く、特に女性ではその傾向が強い。また厚生労働省のデータによると、日本人の5人に1人は、睡眠時に何らかの障害を抱えており、また内容にも問題があるとされている。しかも睡眠不足は高血圧や糖尿病、動脈硬化といった生活習慣病の原因にもなるとも言われている。

## 睡眠の「質」が一番のポイント

総務省の調査によると、日本人の平均睡眠時間は、女性が7時間24分、男性は7時間49分で世界で最も短く、働き盛りの35～39歳では女性が7時間22分、男性は7時間24分とかなり短くなっている。睡眠中は、深い眠りの「ノンレム睡眠」と浅い眠りの「レム睡眠」があり、一晩に「ノンレム睡眠」と「レム睡眠」を4～5回繰り返す。つまり寝入ってから約3時間の深い眠り（ノンレム睡眠）に達すれば、脳も体も安ませることができる。

寝入ってから2～3時間後に分泌されるのが、成長ホルモンである。成長ホルモンは成長を促進させるだけでなく「細胞の修復」や「疲労回復」に役立っている。睡眠不足を感じる時は、成長ホルモンが十分に体にいき直っていないのかもしれない。

## 質の良い睡眠のために必要なこと

人間には体内時計があり、体内時計は24時間11分と言われている。実際の24時間とはずれがあるので、これをリセットして24時間に合わせることで生活のリズムが生まれる。朝は太陽の光を浴びてから、あまり時間を置かず朝食を摂ると良い。夕食は床に就く3時間以上前にすませ、胃腸を休めてから寝るのが理想的である。また入浴はシャワーですませるのではなく、40度くらいのぬるめのお湯にゆっくりとつかるのが効果的である。人間は高い温度が下がる時によく眠ることができる。



## 質の良い睡眠をサポートするもの

睡眠の質を高めるためには、寝具なども重要なポイントである。枕は自分の体に合ったものを選ぶことで、安眠を得ることができる。寝具メーカーが実際に計測して、個人に合ったものを提供してくれるお店もある。またパジャマにも気を遣いたいものである。パジャマは体にぴったりなのが汗をしっかり吸い取ってくれる薄手の木綿が良いようであるが、寒い時期には少し毛羽立ったものに替えると良いであろう。



(出典：オムロン社のAll for Healthcare 資料より抜粋)

# 文芸

## 名句紹介



山国の虚空日わたる冬至かな

飯田蛇笏

こうう

だこつ

冬至は二十四節気の一つで、正午の太陽の位置が冬中で最も低く、昼が最も短い日であり、十二月二十一日か二十二日である。山国の虚空は狭く冬の日差しはありがたい。だから冬至といえれば殊更に太陽を意識するのは山国に暮らす者に共通の思いであろう。一陽來復で陰が極まり明日からは陽に復すると思えばまた格別である。掲句は山国甲斐が生んだ偉大なる俳人蛇笏の太陽への悠久の賛歌であり、わかり易い名吟であると思ふ。季語は冬至　季は冬

薬喰とは、養生のために獸肉を食べることである。猪や鹿、熊や兔も材料となり、猟師の家に集まつたり山の宿などに食べに行くのである。

仏教が普及して、肉食が禁止されていた時代でも、寒中には薬と称して獸肉を食べたようである。掲句の、掛時計が時刻を打つ時などに、自ら胴震いするという情景は、山小屋がふと思ひ浮かぶ。作者は今を盛りの信州出身の俳人。

季語は薬喰

季は冬  
寿限無

掛時計胴震ひせり薬喰い

小澤 實

どうぶる

くすりぐ

生涯を通して「本当の」と断言できる恋があります。それは南天の実が恋の舞台を彩つていたので、南天の実が知っています。

生涯60代に詠んだ歌です。方代は生涯独身で、定職は持たず、小屋のような所に住んでいたそうです。「方代さん、熱烈な恋愛の経験は?」と質問を受けた時に答えたような歌です。裏を返せば、誰も知らないことでもある。人生の夕暮れ時に当たつて、振り返り懐かしい思い出に浸つています。

出典 倭万智著「あなたと詠む恋の歌百首」より

春日山みねつづきてる月影に

しられぬ谷の松もありけり

源 師光

もうみつ

春日山の峰づたいに照る月の光を受けるように、藤原氏の氏々はその威光を受けているが、照る月光の当たらぬ谷の松のような私も居るのであります。

その時代の代表歌人を集め藤原太政大臣の歌会に、その選に漏れた身を述懐して詠んだ歌です。しられぬ谷の松||歌人として召されなかつた作者の比喩

出典「心に残る名言、和歌、短歌、俳句鑑賞」のブログより  
抜粹

## 名歌紹介



一度だけ本当の恋がありまして

南天の実が知つております

山崎方代

ほうだい

トピック  
ニュース

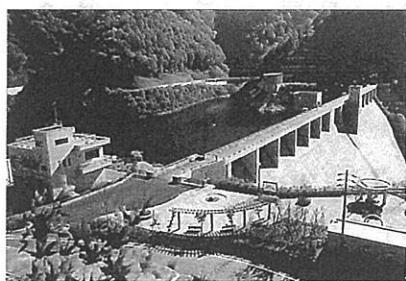
## 人気のミニ野菜 実際に便利

最近はミニ野菜が人気を集めている。ミニ野菜とは成長しても通常の半分程度の大きさにしかならない野菜のことである。通常より小さなサイズで成長が止まるように、品種改良されている。市場に出回っている各種の「ミニ野菜」は、いずれも普通の大きさの野菜を若いうちや小さいうちに収穫したものではなく、専用の品種である。

ミニ野菜だから味も薄いだろうと思うなかれ、・・・ミニ野菜は普通サイズの野菜に負けない旨味や香りを持っているのである。ではどうしてミニ野菜に人気が出てきたのであろうか。ミニ野菜は皮をむいたり、切ったりする必要がない野菜が多いので、調理時間も大幅に短縮でき、小さいので新鮮なうちに食べることができる。しかも使うぶんそのまま使い切り、残りは丸ごと残しておけるため、通常の野菜より日持ちをするものが多いという利点がある。また野菜の形がそのまま付け合わせや飾りつけなどにも使うと、新鮮でお洒落な感じがすることも人気のひとつである。



(育て方 jp より抜粋)



場所：上伊那郡箕輪町東  
道が狭いので、通行には注意すること。湖畔には駐車場はないとのこと。  
問合せ：0265-79-3111  
：箕輪町観光協会

## 上伊那名所探訪

## 「箕輪ダム」(もみじ湖) 箕輪町

もみじ湖の正式名称は「箕輪ダム」である。

湖畔一帯は一万本のもみじが植えられており、晚秋になるとブルーの水面が燃えるような紅葉で、情景を描き出す。

1992年に箕輪ダムが完成し、ダム建設のために沈んでしまった集落の方から、将来に亘ってダムが愛されるようとに寄贈された苗木を10年かけて植林した。

もみじの見頃は10月下旬から11月上旬で、多くのカメラマンが訪れている。

(箕輪町観光協会ブログより)

この会報が皆様のお手許に届くのは一月の下旬頃になると思われるが、昨年12月に京都大学高等研究院特別教授の本庶佑（ほんじよ・たく）さん（76）がノーベル医学賞を受賞されたことは既に皆さんもご承知のことと思う。

今回授賞された内容は「がん細胞を消滅させる免疫細胞に対してもこの機能を妨げるたんぱく質「PD-1」を発見し、この妨害活動を抑えることにより、免疫細胞が活発になり、がんの治療に役立つことを発見された。この「PD-1」の活動を抑えることができる薬が「オブジボ」という薬であるそうだ。

これまでの放射線による手法や抗ガン剤による治療とは異なるやり方であり、がん治療の常識を覆すものである。

そして今回のノーベル賞受賞に際しては、スウェーデンのストックホルムのカロリンスカ研究所において記念講演が行われ、この講演の中で、「近いうちにがんは治療できるようになるだろう。」と述べられたそうである。現在は二人に一人が、がんにかかる時代であり、その効果に期待したい。

(編集委員)

## 編集後記